

令和6年度事業報告

1. 概要

今年度は、学則変更の初年度として、柔道整復師の資格取得プラスアルファを求める生徒が増加していることから、選択科目やゼミ等を充実させると同時に、自己学習や外部講習会への参加が可能となるように授業時間数や単位数を改訂した。また、より質の高い実践的な教育を実践することを目的に、「実技教育の充実」を図ると同時に、外部臨床実習を実施する施術所の拡充調整を行ってきた。

学生募集（令和7年度73期生）においては、午前は、昨年度より多くの入学者を確保したが、受験者数の減少に伴い、午後、夜間部は定員を下回る結果となった。夜間部においては、昨今の勤労学生の減少、学生需要の変化による入学者減を受け、夜間部の役割は終了したと判断し、次年度の学生募集を停止することになった。

今年度の国家試験状況は、受験者数 101 名、合格者数 75 名と 74.3%の合格率にとどまり、全国平均の合格率（75.3%）を下回る結果となった。

令和7年度は、国家試験の合格率アップを目指すとともに、現状取り巻く教育環境の諸課題（入学定員確保、教育改革構築等）に取り組み、引き続き改善を行っていく方針である。

2. 学生に関する事項

（1）令和6年度学生在籍の動向

		令和6年4月	退学	令和7年3月	留年増減	転編入増減	令和7年4月
1年 (72期)	午前	57	8	49	-2	0	58
	午後	43	4	39	-5	0	41
	夜間	19	1	18	0	0	8
	合計	119	13	106	-7	0	107
2年 (71期)	午前	44	1	43	-1	0	48
	午後	46	2	44	-1	0	35
	夜間	49	6	43	-4	0	22
	合計	139	9	130	-6	0	105
3年 (70期)	午前	55	9	46	-4	-2	44
	午後	47	2	45	0	0	43
	夜間	27	2	25	-4	2	45
	合計	129	13	116	-8	0	132
総合計		387	35	352	-21	0	344

（2）令和6年度学生募集に関する事項（3ヶ年比較）

①コース別 1 学年入学時在籍者数

*（ ）内は女子

	午前	午後	夜間	合計
令和7年度 73期生	56 (15)	36 (7)	8 (3)	100 (25)
令和6年度 72期生	53 (15)	42 (16)	17 (3)	112 (34)
令和5年度 71期生	60 (17)	59 (18)	52 (6)	171 (41)

②コース別 受験者数

* () 内は合格者数

	午前	午後	夜間	合計
令和7年度 73期生	68 (60)	30 (36)	7 (9)	105 (105)
令和6年度 72期生	56 (53)	46 (42)	17 (17)	119 (112)
令和5年度 71期生	89 (60)	52 (59)	44 (46)	185 (165)

③入試方法別 受験者数

	AO入試	同窓生推薦	学校・指定校推薦	杏文特待生	柔道特待生	一般入試	医 療 系	合 計
令和7年度 73期生	41	31	26	2	5	0	1	105
令和6年度 72期生	47	55	11	2	3	1		119
令和5年度 71期生	114	42	18			11		185

④月別 受験者数

	7月	8月	9月	10月	11月以降	合計
令和7年度 73期生	15	14	19	39	18	105
令和6年度 72期生	25	34	18	28	14	119
令和5年度 71期生	33	60	38	35	19	185

⑤令和6年度学生募集活動

- ・オープンキャンパスを隔週から毎週日曜日に開催
- ・オンライン学校説明会の開催（年間約60回開催）
- ・資料請求媒体（リクルート）の強化、請求数を増やし来校に繋げる
- ・ホームページでの動画コンテンツ強化
- ・SNS広告（TikTokの活用）
- ・リスティングによるWEBサイトアクセス数増加
- ・進学ガイダンス業者を活用し、高校進路説明会への参加（年間76校→年間113校）
- ・指定校推薦枠の拡充（90校から110校へ拡充）
- ・デジタルマーケティングの活用
- ・高等教育無償化制度（JASSO）の活用
- ・夜間部入学者促進対策
 - 社会人対象（キャリアアップ支援制度：単位互換等 3年間最大80万円減免）
 - 高校生対象（杏文特待生：評定平均3.7以上等 3年間80万円減免）
 - 柔道部対象（柔道特待生：評定平均3.0以上等 3年間80万円減免）
- ・学生スタッフの活用（学校説明会、動画作成等に積極的に活用）
- ・学生のスポーツ現場での活動を発信し、サイトやSNSで発信

3. 教育活動に関する事項

(1) カリキュラム等の見直し

- ・学年単位制への切り替えと新カリキュラムの運用開始
- ・選択科目の導入（スポーツ総合基礎①②）
- ・令和7年度からの臨床実習運用見直し準備（3年次の実習を整形外科で実施）
- ・規程、規則の改定継続（定期試験規程、GPA規程の施行等）

(2) カリキュラム外の研修・実習等

- ・新入生研修（4月）
- ・球技大会（4月）
- ・氷川神社例大祭参加（9月）
- ・校内柔道大会（10月）
- ・解剖見学実習（11月）
- ・3年生国家試験研修（1月、外部会場で実施）
- ・卒後研修会（年8回実施）

(3) 入学前教育の強化

12月 目的：入学前の段階で「クラスの全員と話したことがある」状態を作る

実施内容：アイスブレイク

ランダムにグループを作り、質問に対してグループで意見を出し合い、話し合う（上記のグループを8回転実施）

1月 目的：お互いを知り、相手との間合いを感じながら、1つの目標に向かう取り組みを体験する

実施内容：基礎強化の試験（国語、数学、理科）

白衣、柔道着の採寸

(4) 国家試験対策

- ・実力試験・模擬試験の実施
- ・国家試験出題基準別問題集の作成と配布
- ・補講授業の実施
- ・国家試験会場による直前模擬国家試験（7月、1月大正大学にて実施）
- ・自習勉強会等の全学支援

[参考] 令和6年度柔道整復師国家試験 合格率

本校 現役 74.3%(75/101) 既卒 16.7%(6/36) 合計 59.1%

全国 現役 75.9%(2,419/3,188) 既卒 14.2%(188/1,325) 合計 57.8%

(令和5年度)

全国 現役 84.0%(2,675/3,183) 既卒 35.9%(662/1,844) 合計 66.4%

(5) 学生支援

①学校生活サポート

- ・学生面談：各担任が実施
- ・出欠、遅刻把握
- ・研修先の紹介
- ・事務手続きの規則化と見える化（学生生活ハンドブックの一部改訂等）

②学校環境の整備

- ・Webポータル導入（ICTによる連絡掲示板導入、学生自身での出欠・成績確認）
- ・目安箱の運用継続
- ・図書、図書室に関するアンケートの実施

③就活サポート

- ・就職説明会開催（6月）

4. 教員に関する事項

(1) 教務の運用

- ・週1回教務会議開催、情報共有並びに課題について検討・決定
- ・年度末教員会議開催、非常勤教員への情報共有並びに意見交換

(2) 教員研修等

- ・担当教科による自己点検（PDCA）シート作成
- ・コンプライアンス研修の実施（ハラスメント防止研修）
- ・外部団体研修参加（東京都専修学校各種学校協会、全国柔道整復学校協会）
- ・学会研修参加（日本柔道整復接骨医学会、日本法医学会）

(3) その他教育活動に資する事項

- ・初級パラスポーツ指導員対象「くるるえびす・はあとぴあ原宿 運動指導実習」
- ・パラスポーツサポート（車いすラグビーチーム「AXE」）
- ・国士舘大学陸上競技部サポート
- ・フィギュアスケートサポート
- ・少年野球サポート

5. 事業運営に関する事項

(1) 杏文塾

本校卒業生23名、合格5名、他校卒業生3名、合格1名

合計：26名、合格6名

合格率 23.1%（既卒者全国平均14.2%）

(2) 杏文柔道クラブ

週3回実施 小学生9名

以 上